

住田町立世田米中学校 第1学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和3年9月29日(水)
場 所 住田町立世田米中学校 体育館
学 級 第1学年 計21名
授業者 熊谷美保、野口貴弘、新沼久美子

1 単元名 第2単元「調査をしよう！」

2 単元について

中学校第1学年の「地域の魅力・課題を探究・発信」に関わる単元は、「調査活動に向けた準備をしよう!」「調査をしよう!」「調査したことを発表しよう!」の3単元から構成されている。本単元は、中学校第1学年の第2単元にあたる。

本単元では、地域の方へのインタビュー活動や調査活動を通して、住田町で様々な活動をしている人達の願いや思いを知り、自分たちが今後何をしていくべきか考えを深めることや、住田町の魅力を再発見し、郷土愛、地域の大人とのつながりを深めることをねらいに置きたい。以下、「題材」「生徒の実態」「指導にあたって」の特徴について紹介する。

(1) 題材について

1学年テーマ「住田の人物事典を作ろう!」で取り扱う題材は、「住田町にある寺・神社」「住田町の橋」「火縄銃鉄砲隊」といった住田町の地域資源である。生徒達はこれまでの活動を通して、住田町の魅力を調査し、その魅力について詳しい方を探し、インタビュー活動を行うことで理解を深めてきた。これらの活動を通して、地域の方々の優しさを改めて感じるとともに、活動に対する思いについてより深く考える機会になったといえる。このような活動を通して知り合った地域の方を、「住田の人物事典」としてまとめ、来年以降の活動にいかしていきたい。

本単元では、住田町の魅力を調査する中で、地域の方々から話を聞き、中間報告(プロジェクト発表会)でアドバイザーや地域の方からアドバイスを頂くことで、地域理解につなげていきたい。

また第4ステージでは、住田の魅力を発信するためのプロジェクトを展開していく。2学年では、プロジェクトテーマを設定し、魅力の発信に向けての準備を一年間かけて行ない、3学年では実際に魅力の発信を行っていく。

(2) 生徒について

第1単元で、生徒達は保護者の方と住田の魅力について話し合う活動を通して、住田町の魅力を再発見することができた。興味を持った住田の魅力をもとにプロジェクトメンバーを決定し、積極的に調査活動、中間報告(プロジェクト発表会)の準備、発表を行ってきた。

本単元では、自分たちが興味を持った住田の魅力について実際に調査し、その魅力を深く理解するために地域の方の力を借りて、住田の魅力への理解をより深める機会としたい。

これらの特徴を踏まえ、社会的実践力の中でも、「A 地域理解」「B2 多角的・多面的に考える力」「B5 困難を解決しようとする心」「C3 他者受容」「D1 感じ取る力」といった資質・能力を高められるよう、支援を講じていきたい。

(3) 指導にあたって

学習材の特徴と生徒の実態を踏まえ、「A地域理解」「B2 多角的・多面的に考える力」「B5 困難を解決しようとする心」「C3 他者受容」「D1 感じ取る力」といった資質・能力の育成に迫るために、それぞれの段階において、以下に示す活動を計画している。

単元の導入部では、調査活動を取り入れる。具体的には、①魅力についてインターネットや文献で調査する。②さらに知りたいことを書きだす、③その魅力に詳しい方を探しインタビューする等である。

単元の展開部では、中間報告（プロジェクト発表会）に向けた活動を取り入れる。具体的には、①効果的に発表する方法を決定する。②発表を聴く人の立場に立った発表を工夫する。③他のグループの発表から良さを学ぶ等である。

単元のまとめでは、本単元の取り組みの質を向上させる活動を取り入れる。具体的には、①中間報告（プロジェクト発表会）のアドバイスを受け、今後の調査項目・内容・方法を精査する。②住田の魅力について詳しい方と対話することで、住田の魅力についての知識を深める等である。本時の内容を深めるために事前の準備を次のようにした。ア) プロジェクト発表会で地域の方や先輩からアドバイスを頂き、調査を進めてきた。しかし、多面的多角的に調査するには調査しているメンバー以外の同学年の生徒からの意見を聞く必要性を感じた為、自分たちの調査内容に対する意見を付箋紙に記入してもらい、考え方に広がりや深まりが出るように工夫した。イ) 自分たちの調査した内容を整理できないグループが見受けられた為、調査した内容を次の3つに焦点化した。「自分たちが理解していること」「自分たちは理解しているつもりだが、確認が必要なこと」「自分たちが理解していないこと」。3つに焦点化することで自分たちの理解の度合いを分類・整理することにつながり、本時の対話により深まりが増すと考え実践した。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

育成した資質・能力		資質・能力別の目標
社会的実践力	A 【地域理解】	○ 住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力について、改めて気づくことができる。
	B 【社会参画に関する資質能力】	○ 住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力についての気づきを広めたり深めたりするために、調査（第一回）の項目・方法の成果・課題を明らかにし、より良い調査項目・方法を選択することができる。
	C 【人間関係形成に関する資質能力】	○ 他者からのアドバイスを踏まえ、自分達の調査項目・方法の成果と課題を具体的にあげることができる。
	D 【自立的活動に関する資質能力】	○ 自分達の調査項目・方法の成果と課題を明らかにし、課題を改善するためのアイデアを提案することができる。

(2) 評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解	【◎地】	◆住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力について、調査等を通して改めて気づき、プリント等にまとめようとしている。

B 社会参画に関する資質 能力	2 ☆多角的・多面的 に考える力 5 ★困難を解決し ようとする心	【☆多】 【★困】	◆住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力についての気づきを広めたり深めたりするために、調査（第一回）の項目・方法の成果・課題を明らかにしようとしている。 ◆住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力についての気づきを広めたり深めたりするために、調査（第一回）の振り返りを踏まえて、より良い調査項目・方法を選択しようとしている。
C 人間関係形成に 関わる資質能力	3 ★他者受容	【★他】	◆他者からのアドバイスを踏まえ、調査（第一回）の項目・方法の成果と課題を具体的にしようとしている。
D 自律的活動に関 する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	◆自分達の調査項目・方法の成果と課題を明らかにし、課題を改善するためのアイデアを提案しようとしている。

4 単元の指導・評価計画（本時 第20時／全23時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する 教科・領域	評価項目 (評価方法)
6 ～ 7	調査をしよう！	情報収集	2	○調査する方法（インタビュー、フィールドワーク、文献調査など）の決定 ・専門家から、調査する方法などを学ぶ。 ・調査する方法を決定する。	【特別活動 学級活動】 【国語 話すこと 聞くこと】	・C3★他者受容 (チェックリスト)
7 ～ 8		計画する 見通しを持つ	3	○調査（第一回）に向けての準備 ・交通手段を確認する。 ・質問事項などをまとめる。 ・インタビュー等が必要な場合、アポイントをとる。 ・質問練習をする。		
		実施・改善	4	○調査（第一回）の実施 ・実際に調べる。 ・振り返りをする。		

	調の成果と課題を明らかにしよう！	まとめ 振り返り 問題の理解 現状把握	4	○中間報告（プロジェクト発表会）に向けての準備 ・発表資料を作成する。 ・発表練習をする。		・ B 2 ☆多面的・多角的に考える力 (ルーブリック)
			3	○中間報告（プロジェクト発表会）の実施 ・発表する。(相互交流含む) ・振り返りをする。		
9	調査内容を深めよう！	計画する 見通しを持つ	3	○調査（第二回）に向けての準備 ・調査（第一回）の成果・課題をふまえ、調査対象・項目・方法を決定する。 ・調査に向けた準備をする。		
10			実施 改善	4 (本時)		

◎ 本単元で使用したルーブリック

「第2単元 調査しよう！」のルーブリック

みとる資質・能力		B 2 ☆多面的・多角的に考える力
取り組むパフォーマンス		これまでに準備してきたプロジェクトプランを発表する。 (全23時間)
パフォーマンスの特徴	A	自分達のプロジェクトを発表する際、聞き手を意識して分かりやすく発表している。また魅力を発信する目的、調査方法、聞き取る人物を明確にし、発表している。
	B	魅力を発信する目的、調査方法、聞き取る人物を明確にし、発表している。
	支援の手立て	・学習プリントを使用し、発表の手立てを確認し、プロジェクト発表会に向けての助言をする。

5 本時の指導

(1) 目標

地域の方との対話を通して、住田の魅力についての知識を深める。【A地域理解】

(2) 評価について

みとる資質能力	項目	支援の手立て
A◎地域理解	プロジェクト発表会で頂いたアドバイス等を整理し、アドバイザーの方との交流を通して、地域の魅力についての知識を深めることができる。	プロジェクト発表会で頂いた情報を整理し、さらに知識を深めていきたい項目を確認しながら支援する。

(3) 展開

階	学習内容・学習活動	・指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<p>1 1学年テーマの確認</p> <p>2 本時の学習活動の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在取り組んでいる地域創造学の流れを確認する。 ・黒板に「住田の人物事典を作ろう！」を示し、共有をはかる。 ・本時のねらい、ポイントを確認する。 ① テーマの理解が深まるように質問だけでなく、自分の見や考えを伝える。 ② 話を聞く中で疑問がうまれた場合、積極的に質問する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>学習課題：「地域の方と対話し、住田の魅力についての知識を深めよう。」</p> </div>		
展開 40分	<p>3 調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に移動し、地域の方にインタビューし情報を集める。 ・調査した内容を学習シートにまとめる。 <p>4 各グループが調査し、まとめた内容を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の方に今までの調査内容を説明できるように、中間発表（プロジェクト発表会）の資料を準備する。 ・あらかじめ、グループ内での役割を決めておく。 <p>◆住田町で活躍している人や企業の願い、住田町の地域資源の魅力について、調査等を通して改めて気づき、プリント等にまとめようとしている。【◎地】（プリント）</p>
まとめ 5分	<p>5 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを記入する。 <p>6 次時の学習活動の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に取り組んだ内容を踏まえ、振り返りシートの「取り組んだこと」「成果」「課題」「次時取り組みたいこと」を記入するように促す。